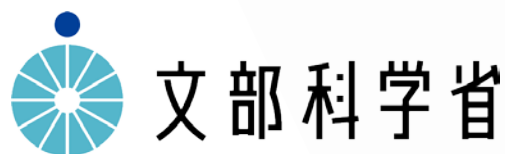


ESD推進ネットワークについて



ESD推進ネットワークの構築に向けた議論

- 平成26年11月 「ESDに関するユネスコ世界会議」においてDESDの後継プログラムとして「ESDに関するグローバル・アクション・プログラム（GAP）」の開始が正式発表
- 平成27年7月～ ESD活動支援企画運営準備委員会において検討開始
- 平成28年3月 「我が国における『持続可能な開発のための教育（ESD）に関するグローバル・アクション・プログラム』実施計画」（ESD国内実施計画）が関係省庁連絡会議で決定

【ESD国内実施計画（抜粋）】

①政策的支援（ESDに対する政策的支援）

c) 多様なステークホルダーの連携促進に関すること

- ・全国的なESD支援のためのネットワーク機能の体制整備

ESD関係省庁連絡会議及びESD円卓会議での議論を踏まえ、ESD活動に取り組む様々な主体が参画・連携し、地域活動拠点の形成とともに、地域が必要とする取組支援や情報・経験を共有できる「ESD活動支援センター（全国・地方）」を整備し、地域の実態を踏まえた効果的な運用を図っていく。

③地域コミュニティ（ESDを通じた持続可能な地域づくりの参加の促進）〈再掲〉

ESD推進ネットワーク

私たちが目指すのは

持続可能な社会の実現

学校・地域・職場などで
ESDに取り組もうとする
多様な実践主体

ESDを広げる支援・深める支援

地域ESD活動推進拠点
(地域ESD拠点)

(地方センター)

ESD活動支援センター
(全国センター)

地域ESD活動推進拠点

〈地域ESD拠点〉

地域で先導的、波及効果の高い
ESD活動を実践している組織・
団体や、地域でESD活動を支援
している組織・団体などの協力
を得て形成します。

地方ESD活動支援センター (仮称)

〈地方センター〉

広域的なハブ機能を担い、地域における
ESD活動の支援等に取り組みます。

ESD活動支援センター

〈全国センター〉

全国的なハブ機能を担い、ESD活動の
支援等に取り組みます。

4つの「はたらき」

- ・ 情報・実践の共有
- ・ ESD支援体制の整備
- ・ 学びあいの促進
- ・ 人材の育成

3つの「つなぐ」

- ・ 多様なテーマをつなぐ
- ・ 地域をこえてつなぐ
- ・ 国際的な情報をつなぐ

ESD活動支援センター（全国センター）の開設

- 平成28年4月 官民協働プラットフォームとして、ESD推進ネットワークの全国的なハブ機能を担う「ESD活動支援センター」を開設

- 平成28年度の活動例

ESD推進ネットワーク全国フォーラム2016 ～ESD第2ステージ：未来をつくる学びの俯瞰図～

日 時 平成28年11月26日（土）10:00～17:30
会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター国際会議室
参加者数 185名（関係者含む）



第一部 基調パネルディスカッション：ESD が目指す世界
第二部 地域の ESD 先進事例に学ぶ
第三部 持続可能な未来のための協働を俯瞰する



ESD 推進ネットワークと ESD 活動支援センター（全国・地方）の役割

- 上記の他、相談業務、ウェブサイトの開設、若者世代による情報発信等を実施

地方ESD活動支援センター（地方センター）の開設準備

- 平成28年11月～ 地域における官民協働プラットフォームとして、広域的なハブ機能を担う「地方ESD活動支援センター（仮称）（地方センター）」を平成29年7月を目途に全国8箇所開設すべく準備を開始

併せて、地域においてESDを実践・支援している組織への協力依頼、ヒアリング、意見交換等の実施

また、全国8箇所に地方ESD活動支援センター（仮称）設置準備委員会を設置し、検討を開始